



平成 30 年 6 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 30 年 5 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり平成 30 年 5 月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	785	67.9%	△3.5%	26.5%
F P D分野	360	31.2%	△0.4%	68.5%
その他分野	10	0.9%	55.5%	△56.9%
合計	1,156	100.0%	△2.2%	34.6%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H29.6月	7月	8月	9月	10月	11月
半導体分野	564	539	551	567	552	655
F P D分野	278	318	268	258	283	213
その他分野	23	6	0	5	3	13
合計	866	864	820	831	839	882

区分	12月	H30.1月	2月	3月	4月	5月
半導体分野	646	730	774	788	814	785
F P D分野	229	306	311	323	362	360
その他分野	16	19	6	7	6	10
合計	892	1,056	1,092	1,119	1,183	1,156

3. 月次受注残高の概況

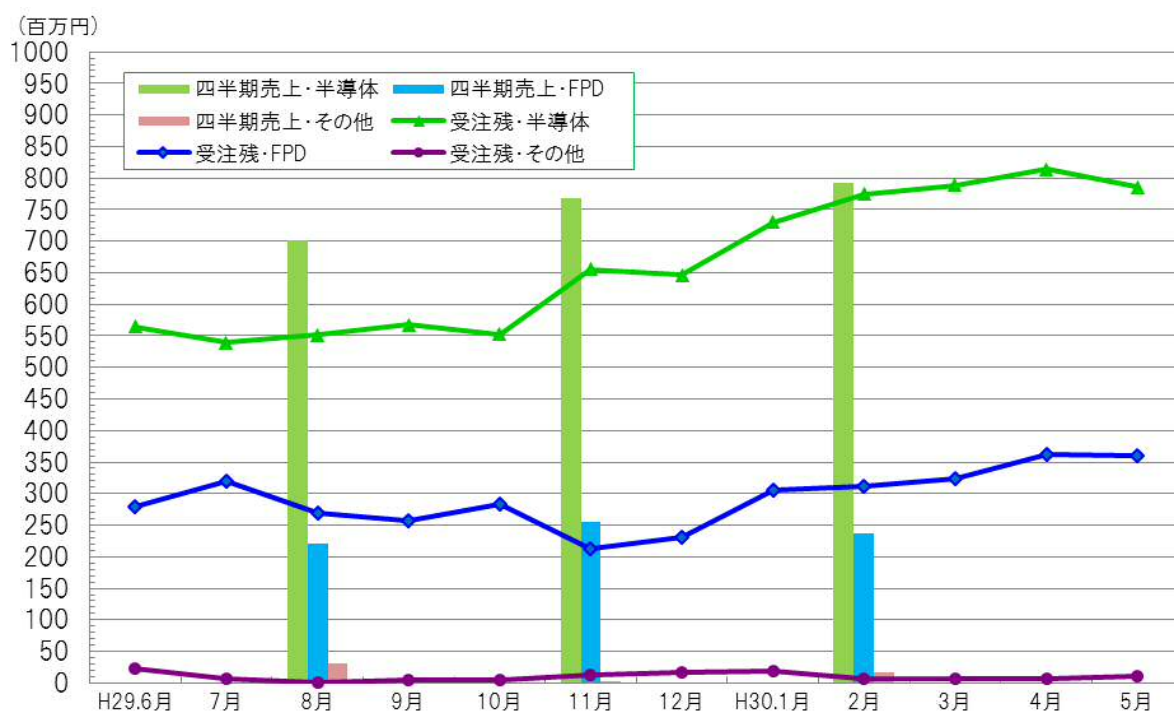
平成30年5月末の受注残高は、半導体分野においては、出荷検収は順調に推移しながらも、受注において若干の調整があったことから、対前月増減率は3.5%減、対前年同月増減率では26.5%増の785百万円となりました。なお、半導体分野の受注調整は、当社工程の前後工程を担当する企業の一時的な能力不足に起因するものであり、6月中には解消する見通しです。FPD分野においては、出荷検収と受注は高水準を維持し、対前月増減率は0.4%減、対前年同月増減率では68.5%増の360百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはありませんでした。

これらの結果、平成30年5月末の受注残高は、対前月増減率2.2%減、対前年同月増減率34.6%増の1,156百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、新事業所（出水事業所）の設備増強による生産力拡大を見込んだ引き合いや、試作品受注が増加しており、多少の山谷はありながらも、段階的な受注増加が見込まれます。また、中長期的にも半導体市場は拡大する見通しであることから、一部稼働を開始した出水事業所の生産スペース余力を活かし、継続的に設備投資を行いながら受注拡大を図ってまいります。FPD分野では、顧客の需要予測等によると、韓国向け設備投資の一部に延期の動きがでております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

注2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。